



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年7月26日朝刊

温室ガス家庭部門 66%減

政府計画案 30年度目標、大幅削減要請

菅義偉首相が表明した2030年度の温室効果ガス排出量を13年度比で46%削減する目標の実現に向け、企業や自治体、家庭が取り組む具体策をまとめた政府の新たな地球温暖化対策計画の原案が25日、関係者への取材で判明した。30年度の排出量を家庭部門で66%、業務部門で50%、産業部門で37%、13年度比でそれぞれ減らす。家庭に大幅な削減を求める一方で、排出が多い産業部門の削減率は小さくなっており、産業界への配慮をにじませる内容となった。

同計画は、政府が地球温暖化対策推進法に基づいて策定し、温暖化に関する総合計画と位置付けられる。今回

部門別の二酸化炭素(CO₂)排出量と削減率

	2013年度 [t]	30年度 [t]	削減率	現行計画 の削減率
産業	4億6300万	2億9000万	37%	7%
業務	2億3800万	1億2000万	50	40
家庭	2億800万	7000万	66	39
運輸	2億2400万	1億4000万	38	28
エネルギー 転換	1億600万	6000万	43	28

※政府原案による

の改定は2016年以
来5年ぶり。首相が昨
年10月表明した50年
の温室ガス排出実質
削減目標を明記し
た。

原案によると、エネ

ルギー由来の二酸化炭素(CO₂)排出量は、日本の温室ガス排出量の8割以上を占め、産業、業務、家庭などの5部門に分かれる。30年度は6億8千万トンを目指し、13年度実績の12億3500万トンを比べて45%削減する。

具体的には、家庭部門は住宅の省エネ促進や屋根に置く太陽光発電設備拡大などによって66%削減するとし、現行計画の39%減から踏み込んだ。業務部門は建物の省エネなどで50%減(現行は40%減)、産業部門は産業界の自主的取り組みなどで37%減(同7%減)とした。

①政府の計画では、2013年度に比べて2030年度の温室効果ガス排出量を何パーセント削減する目標がありますか。

()%

②①の目標を実現するため、2013年度に比べて2030年度には、家庭部門で温室効果ガス排出量を何パーセント減らす計画がありますか。

()%

③日本の温室効果ガス排出量の8割以上は何によるものですか。

()

④家庭で温室効果ガス排出量を減らすためには何が必要だと思いますか。あなたの考えを20字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校、高校/社会、理科、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年7月26日朝刊

同計画は、政府が地球温暖化対策推進法に基づいて策定し、温暖化に関する総合計画と位置付けられる。今回

菅義偉首相が表明した2030年度の温室効果ガス排出量を13年度比で46%削減する目標の実現に向け、企業や自治体、家庭が取り組む具体策をまとめた政府の新たな地球温暖化対策計画の原案が25日、関係者への取材で判明した。30年度の排出量を家庭部門で66%、業務部門で50%、産業部門で37%、13年度比でそれぞれ減らす。家庭に大幅な削減を求める一方で、排出が多い産業部門の削減率は小さくなっており、産業界への配慮をにじませる内容となった。

菅義偉首相が表明した2030年度の温室効果ガス排出量を13年度比で46%削減する目標の実現に向け、企業や自治体、家庭が取り組む具体策をまとめた政府の新たな地球温暖化対策計画の原案が25日、関係者への取材で判明した。30年度の排出量を家庭部門で66%、業務部門で50%、産業部門で37%、13年度比でそれぞれ減らす。家庭に大幅な削減を求める一方で、排出が多い産業部門の削減率は小さくなっており、産業界への配慮をにじませる内容となった。

政府計画案 30年度目標、大幅削減要請

温室ガス家庭部門66%減

部門別の二酸化炭素(CO₂)排出量と削減率

	2013年度 [t]	30年度 [t]	削減率	現行計画 の削減率
産業	4億6300万	2億9000万	37%	7%
業務	2億3800万	1億2000万	50	40
家庭	2億800万	7000万	66	39
運輸	2億2400万	1億4000万	38	28
エネルギー 転換	1億600万	6000万	43	28

※政府原案による

ルギー由来の二酸化炭素(CO₂)排出量は、日本の温室ガス排出量の8割以上を占め、産業、業務、家庭などの5部門に分かれる。30年度は6億8千万トンを目指し、13年度実績の12億3500万トンを比べて45%削減する。具体的には、家庭部門は住宅の省エネ促進や屋根に置く太陽光発電設備拡大などによって66%削減するとして、現行計画の39%減から踏み込んだ。業務部門は建物の省エネなどで50%減(現行は40%減)、産業部門は産業界の自主的取り組みなどで37%減(同7%減)とした。

①政府の計画では、2013年度に比べて2030年度の温室効果ガス排出量を何パーセント削減する目標がありますか。

(46)%

②①の目標を実現するため、2013年度に比べて2030年度には、家庭部門で温室効果ガス排出量を何パーセント減らす計画がありますか。

(66)%

③日本の温室効果ガス排出量の8割以上は何によるものですか。

(エネルギー由来の二酸化炭素(CO₂))

④家庭で温室効果ガス排出量を減らすためには何が必要だと思いますか。あなたの考えを20字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)住宅での省エネをさらに促進する。(16字)

屋根に置く太陽光発電設備を拡大する。(18字) など

年 組 名前

作問者:静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校、高校/社会、理科、総合)